

教職員の長時間労働の解消を



公約実現めざし質問しました



狛江市で過労死ラインを超える残業をしている教職員は
小学校で10名（約5%）、中学校で13名（約14%）

6月議会で私、荒木てつは
教職員の長時間労働解消な
ど教育環境の充実について質
問しました（写真）。

教職員の長時間労働では、

市側から今年4月と5月の勤
務実態が報告され、狛江市
の小中学校で、約半数の教職
員が月45時間以上残業して
おり、過労死ラインの月80時
間を超える残業をしている教
職員も両月ともいて、5月は、
小学校10名（約5%）、中学
校で13名（約14%）いること
が明らかとなりました。また
今年度は小学校1校で教職員
が欠員となっています。

いま教職員の長時間労働と
教員不足が社会問題になって

あり、新任の教員が1年以内
にやめるケースが相次いでいる
と報道されています。

学校を訪問し実態を調査

私は、今回の質問にあたり、
三小、六小、二一中を訪問し
校長先生や副校長先生から、
「夜9時近くまで残業している
先生もいる」「30人学級など
ークラスの人数を抑えること
で、教職員の負担が大幅に軽
減する」などのお話しも伺い
ました。

教職員増員、30人学級を

私は質問で、こうした話を
紹介し、教職員の長時間労働
を解消するため、国や都にも
働きかけ、教職員の増員と
30人学級の実現をすすめてほ
しいと求めました。しかし教
育部長や教育長は、まずは35
人学級への対応を行なうとの
答弁のみで、国や都への働き
かけについては、明確な答弁
はありませんでした。

教職は魅力ある仕事

私は長年、教職の仕事に就
いてきましたが、本来、教職
は、大変魅力ある仕事です。
子どもを教えるという立場で

ありながら、子どもから教え
られることも多くあり、子ど
もの成長と共に自分も人間の
に成長できます。

昨年の12月議会で、日本
共産党市議団が呼びかけた
教職員の増員を求める意見書
が賛成多数で可決されました

（自民のみ反対）。
私、これを力に、教職員の
増員と30人学級を早期に実
現するためがんばります。

- ① 猪方樋管―排水ポンプの用地確保早く
- ② 水位計の異常の改善を
- ③ 防災ラジオの利用拡大を

私は6月議会で災害対策強
化を求めました。

所有者と折衝を行なっている
と答えました。

「一般市民への利用拡大につ
う検討する」と答えました。

市「用地確保は土地

所有者と折衝中」

市「新たな水位計を

設置する」

猪方樋管への排水ポンプの
設置について用地確保を急ぐ
よう求め、環境部長は「土地

6月はじめの豪雨の際、猪
方樋管の水位計が急に3mか
ら13mに跳ね上がった問題
について同部長は「水位計に
不具合があった。新たな水位
計を設置する」と答えました。

市「防災ラジオの利用
拡大検討する」

防災ラジオの利用拡大につ
いては、福祉保健部長が、「現
在、ひとりでは避難が困難な
方々で避難計画を作成した
方に無償貸与しているが、今
後、避難計画を作成していな
い方々にも無償貸与できるよ

う検討する」と答えました。
4年前の台風19号で狛江市
では448世帯が浸水しまし
た。日本共産党は、排水ポン
プ設置をくり返し要求。その
結果昨年、排水ポンプの整備
が決まり、都の補助も10倍に
増やすことができました。

ひきつぎ災害対策の強化
にがんばります。



4年前の台風で浸水した六小正門から
猪駒通りに向かう道路

裏面に視覚傷害者へ
の支援、路面標示改
善、防犯カメラ・街
路灯設置など